

世界のデング熱流行状況(更新 10)

2011年11月21日 ProMED 情報

(1)ベトナム

ホーチミン市(11月16日) 今年に入り、これまでの患者数は10,550名、死亡患者数は10名です(昨年同期2名)。11月3~9日の患者数は294名、10月27日~11月2日は261名と依然流行しており、昨年同期は、すでに減少していました。

全国(11月11日) これまでの患者数は49,011名、死亡患者数は46名で、多くは中部と南部からの報告です。昨年の患者数は128,831名、死亡患者数は109名でした。

(2)パキスタン

シンド Sindh州 カラチ Karachi(11月18日) 州全体の死亡患者数は17名です。

パンジャブ Punjab州 ラホール Lahore(11月17日、11月14日) これまでの患者数は、州全体で21,115名です。州都ラホールの患者数は17,360名で、死亡患者数は359名です。

(3)スリランカ (11月18日)

これまでの患者数は22,244名、死亡患者数は151名です。西部州からの報告は5,756名です。今年7月が最も流行しました。

(4)インド

チャッティースガル Chhattisgarh州 ライプル Raipur(11月18日) これまでに5名が死亡し、患者数は119名です。

デリー (11月16日) これまでの患者数は992名で、現在減少傾向です。

ビハール Bihar州(11月17日) 新たに6名の患者が確認され、合計20名になりました。

ハリヤナ Haryana州 とパンジャブ州の州都 チャンデガール Chandigarh(11月9日) これまでの患者数は64名で、9月以降3名が死亡しています。

(5)マレーシア

11月第2週の1週間で、全国で1名の死亡患者を含む367名の患者が報告されました。

(6)インドネシア

西スマトラ州 Agam 自治区 Tilatangkamang 小地区(11月16日) 6名の患者が治療を受けました。

南スマトラ州 パレンバン Palembang(11月14日) 10月現在、2つの小地域で500名以上の患者が確定診断されたので、地方保健所は対策の強化を継続しました。

(7)マーシャル諸島

11月13~16日、マジュロ病院にデング熱症状の患者751名が受診し、391名が確定診断されました。

(8)ミクロネシア連邦(ヤップ諸島 Yap Islands)

11月16日現在、ヤップ島で286名の患者が確認され、今年2度目の流行です。

(9)ブラジル

エスピリト・サント Espirito Santo 州 1月2日~11月12日までの患者数は51,087名で、3,301名は重症の疑いがあります。死亡患者数は25名で、2名は調査中です。

ミナス・ジェライス Minas Gerais 州 ウベラバ Uberaba(11月15日) 現在、古典的デング熱患者1,529名、合併症2名、デング出血熱患者1名を含む疑い患者2,476名が確認されました。